

第15回 運営推進会議 議事録

令和7年2月19日

事業所名	デイサービスセンター「よつ葉」			
開催日時	令和7年2月19日(水)			
開催場所	デイサービスセンターよつ葉			
参加者	利用者	1名	知見を有する者	1名
	利用者家族	1名	地域包括支援センター	1名
	地域住民の代表	1名	事業所職員	2名
議題	1.運営状況 2.事故・ヒヤリハット報告 3.活動報告 4.感染症対策 5.質疑応答 6.運営委員からの評価 7.今後の活動			
会議録				

1.運営状況

○介護度の内訳 令和7年1月31日現在 合計14名

要支援1:0名/要支援2:0名

要介護1:2名/要介護2:5名/要介護3:5名/要介護4:2名/要介護5:0名

2.事故・ヒヤリハット報告

・半年間で事故は6件、ヒヤリハットは0件

事故報告 R6年 10月 30日 16時 45分頃

【内容】夕方の帰り送迎時、自宅玄関先段差を4点杖両手杖歩行で上がる際、左側へ傾くようにバランスを崩し、家の壁に左手が接触し擦り傷を負わせてしまった。後方から手を添えながら介入していたが、倒れる時にしっかり身体を支えられていなかった為負傷に至った。

【今後の対応】バランスを安定する為に身体をしっかり支え、足元挙上確認・安定確認を徹底する。場合によっては車いすを活用する。

事故報告 R6年 11月 26日 11時 35分頃

【内容】食事前の集団体操の為、椅子の位置を移動する際、座った状態のまま回転させ、左足がテーブルの足に引っかかってしまい捻ってしまった。捻れた際に足首が痛んでしまっていたが、「大丈夫、大丈夫」と返答あり、傷や内出血、腫れ等の負傷には至らなかった。

【今後の対応】障害物がないか行動を起こす時のリスクはどうなるのか予測しながら、ひとつひとつ安全に確認していく。

事故報告 R6年 12月 3日 9時 15分頃

【内容】来所時の際、降車から玄関口椅子への移動介助時、左腕を支えながら介入していたが、バランスを崩し膝をついてしまった。二人がかりで椅子へ座らせ、負傷の有無を確認した所、痛みや傷等の外

傷はなかった。

【今後の対応】歩行状態が不安定になり易くなってきている為、特に足元に注意し、前傾姿勢になる身体を支えながら声掛けしていく。

事故報告 R6年 12月 14日 12時 40分頃

【内容】当日分の臨時薬をセッティングする事を忘れてしまい、翌日、他のNsからの指摘で気が付いた為、一日分未服用となってしまった。

【今後の対応】スタッフ間でのWチェックの徹底や声の掛け合いを行う。

事故報告 R6年 12月 18日 9時 00分頃

【内容】朝の来所時、降車直後玄関先段差で躓き両膝をついてしまったが、片腕を支えて介入していた為、傷や痛みには至らなかった。

【今後の対応】他の利用者対応中は、対応可能となる迄待機して頂くよう声掛けをする。

事故報告 R7年 1月 18日 8時 45分頃

【内容】朝の送迎時に乗車シートベルトの着用を忘れてしまい、そのまま気が付かず、夕方、他のスタッフへ「朝シートベルトしてなかったよ」と、話をしている所で気が付いた。

【今後の対応】慌てずにひとつひとつ確認しながら対応する。

事故やヒヤリハットが発生した場合は、その都度情報共有し、対策を提案して実行できるように連携している。似たような事例に関しては、繰り返しのないよう勉強会や研修等を取り入れてスキルアップ向上に繋げていくよう努める。病状や異常がある場合にも、ご家族様・ケアマネ・事業所との情報交換や相談等を積極的に行う事で早期発見早期対応に努め、事故やヒヤリハットが発生した際には、関係機関に報告を行うと共に、発生した日の内に職員間で原因・対策等の話し合いを行い、再発防止に努めていく。

3.活動報告

○3月の介護フェア作品作り(来年の干支をモチーフにした壁飾り等)

○口腔機能向上サービスの実施(歯科の医師、歯科衛生士の助言を受け、デイサービスの看護師による指導) 対象者:6名

口腔清潔、半年毎の口腔内検査(ば・た・か・らを早く言える、唾液の出方、舌圧測定等)や3か月毎のアセスメント・評価を実施。異常ある場合は家族へ歯科受診提案。受診が困難な場合、特に義歯の作り直しが必要な場合は、訪問歯科を提案。口腔体操では、リンパ腺マッサージ、舌運動、発声練習、飲み込みの練習、首の筋肉に負荷をかける等を実施、2/10歯科衛生士から、舌を左回し右回しそれぞれ10回ずつ、『あ・い・う・べ〜(舌を出す)』と発声を5~10回行うようコメントがあり。加齢や空気乾燥の季節による唾液低下が嚥下困難や感染症リスクを高める為、長めのリンパ腺マッサージ強化。また、舌強化の為の発声練習やペコパンダ(舌筋強化自主訓練用具)を使用。

○脱水予防対策として、入浴後の水分100ml補給、体調不良(意識障害やADL低下等)や発熱、血圧異常、排尿量が少なめや濃縮尿や混濁尿等の異常、中々水分を取られない方に対しても水分補給(必要に応じてOS-1ゼリーや補水液)を積極的に実施。

○冷え対策として、掛物調整・エアコン・暖房器具・足置きクッション

○防災訓練実施(R6年9月:大雨による水害を想定した訓練を実施、2月は地震を想定した訓練を予定)

連絡方法として、前回アドバイスを頂いた『LINE』機能を活用する方法を導入する予定。

○「こども110番の家」の指定

地域のお子様、父兄、近隣住民、学校の先生方に気軽にお声掛け頂けるような雰囲気作りとして、積極的な挨拶。

4.感染症対策

○お迎え時の体温測定(37.5℃以上の場合は来所を控えて頂く場合がある)。

○職員の場合は、体調不良時の連絡・相談、発熱や風邪症状発生時の受診や出勤自粛。

○ご利用様は朝の検温が基本で、疑わしい症状がある場合は再検とし、必要に応じてケアマネや家族へ相談し受診の検討・対応依頼。対応が難しい場合は、隔離対応しながら様子観察。

○送迎車にマスク・体温計・手袋・消毒液・ゴミ袋等を常備。

○来所時の手洗い・うがい・消毒の徹底。

○サービス時間中の職員・ご利用者様全員の飲食以外のマスク着用の徹底。

○入浴介助中の職員はマスク着用の徹底。

○窓の開閉調整・空気清浄機・加湿器・エアドッグ・扇風機での常時換気。

○午睡時使用の寝具の定期的洗濯や消毒、枕敷きタオル毎日の洗濯。

○利用時間終了後に室内の消毒(椅子・テーブル・手すり・平行棒・水回り・マスク入れ他)や掃除。

○玄関・脱衣所のカーテンは、定期的な洗濯・消毒。

○シェーバーの刃やヘアブラシ、歯磨きセットは個別。

○風邪症状や高熱者に対してバイタルチェック・必要に応じて抗原検査も実施し、家族やケアマネ・多職種等との連携を図る。

○感染者が出た場合は、他者との距離感の確保や隔離、介入者は防護服装着で対応。

5.質疑応答

①よつ葉さんは、化粧療法等の
特殊なレクリエーションをしてい
らっしゃるので、その後の変化が
分かるようにするといいいですね。

化粧療法では、先日、アイシャドウのカラーをそれぞれ選んで頂き、先生が補足する感で行いました。男性の方も参加され、スキンケアを行いました。皆さん、積極的に取り組まれていました。今後は実施後の変化を評価し、化粧療法の効果をアピール出来るようにしていきます。

6.運営委員からの評価

(利用者)

はい、良くしてもらっている。楽しい。

(利用者家族)

家では中々話をしないので、声掛け等が嬉しいのです。ナイかとても楽しみで、休みの日は寂しそつ。色々な行事やお出かけ等を話してくれるので、とても楽しみみたいでこちらとしてはとても有難いです。よつ葉さ

んには色々とお世話になって本当に助かっています。

(地域の代表者)

毎回思うんですけど、この報告書(ヒヤリハット・事故報告書)を見ると、スタッフさんが良くされているなど感心しています。今まで通り、優しくしてほしい。

(知見を有する者)

照会より…●行事の他に、外出支援やボランティア活動について、利用されている方から楽しみがあったという話をされていた。

●口腔機能向上サービスを実施してくださっている為、ご家族様からもありがたいと感謝の声が聞かれています。口腔ケアなどの声掛けをするけれども、してくれなかったり、本当にしているのか分からない為。

●ヒヤリハットについて、フィードバックを必ずしている為安心です。

●事業所として、地域の見守りや、交流を積極的に行ってくださっていることで、デイサービス、高齢者などハードルや偏見がなくなると良いなと思います。

(地域包括支援センター)

よつ葉さんは、他ではないレクリエーション(化粧療法)を取り入れていらっしゃるの、化粧療法なんかは利用者様は喜ばれているでしょう。変化(ビフォーアフター)が分かるとよりいいですね。

住吉病院が管理するセラピードッグですが、名刺もきちんとあり、利用者様の癒しになるのではと思いまして紹介させて頂きました。スローガン、楽しみですね。

7. 今後の活動

○地域の子どもたちに気軽に声をかけてもらえるような雰囲気の良いデイサービスにする

○『こども110番の家』として、小・中学校の生徒やそのご家族、学校関係者や地域の方との積極的な挨拶運動や声掛けを引き続き実施

○地域活動参加を実施(年に数回の『生き生きサロン』や防災訓練等)

○新年度から理学療法士導入にて、専門的な機能訓練やレクリエーション実施予定

デイサービススローガン:『「できる」を引き出す まだまだ出来る、自分の力を信じよう』

次回、運営推進会議は、令和7年8月の予定